

事務事業評価一覧(課別)

令和6年度

教育部国分中央高等学校 (単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	28,736	コスト	成果	
2381 国分中央高校生・教職員健康診査事業	3,313	→	→	414-01
2382 国分中央高校活性化事業	10,825	→	→	414-02
2385 各学科課題研究支援事業	659	→	→	414-03
2386 国分中央高校設備整備事業	13,939	→	→	414-04

1. 基本情報							
事務事業名	2381 ー 国分中央高校生徒・教職員健康診査事業						
政策名	4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			所属	国分中央高等学校		
施策名	1. 立志と将来への希望を育む学校教育の充実						
基本事業名	4. 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性、教育水準の維持向上を図るとともに、学科間の連携した取組を推進し、地域に信頼される魅力ある学校づくりに取り組みます。 ②歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに応じた高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 ③進路指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。			算	款	10	教育費
				科	項	04	高等学校費
				目	目	01	高等学校総務費
				事業期間		昭和33年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	学校保健法	
	①国分中央高校 ②③生徒		①専門校としての魅力が高まる ②専門的技術や知識を持つことができる ③主体的な進路選択ができる		関連計画	特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

生徒・教職員を対象に検診を実施する事業							
生 徒：内科検診、眼科検診、歯科検診等 教職員：胃がん検診、結核検診、健康診断、ストレスチェック等							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	生徒	生徒数	人	765	763	760	767
イ	教職員	受診者数	人	96	94	94	95
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	健康状態を知ることができる	受診率	%	100	100	100	100
イ	健康状態を知ることができる	受診率	%	100	100	100	100
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		3,056	3,313	3,509	・1年生279人を対象に眼科検診、心電図及びレントゲン撮影を、全生徒760人を対象に尿検査、内科検診及び歯科検診を実施した。 ・生徒の保護者に対し、早めに健康診断の時期を通知し、受診率の向上に努めた。 ・健康診断の結果、要精密者又は治療勧告者は、心電図11人、尿検査8人、内科検診48人、眼科検診10人、歯科検診349人であった。要精密者及び治療勧告者に対し、病院での再受診や治療を行うよう保健指導を行った。受診率については、歯科が20.5%、眼科が50.0%であったが、それ以外は100%であった。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	3,056	3,313	3,509	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名 2382 ー 国分中央高校活性化事業									
政策名		4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			所属		国分中央高等学校		
施策名		1. 立志と将来への希望を育む学校教育の充実							
基本事業名		4. 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			予 算 科 目		01 一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)		①各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性、教育水準の維持向上を図るとともに、学科間の連携した取組を推進し、地域に信頼される魅力ある学校づくりに取り組みます。 ②歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに応じた高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 ③進路指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。					10 教育費		
					04 高等学校費				
					01 高等学校総務費				
					事業期間		平成24年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①国分中央高校 ②③生徒		①専門校としての魅力が高まる ②専門的技術や知識を持つことができる ③主体的な進路選択ができる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

専門学科や部活動の環境充実等に努め、学校の活性化に取り組む事業。

主に外部指導者による部活動指導や講演会の開催、九州大会・全国大会への出場に対する経費補助等を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	生徒	生徒数	人	765	763	760	767
イ	国分中央高校の定員	国分中央高校の定員数	人	280	280	280	280
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	九州大会・全国大会に出場できる	九州大会・全国大会出場への補助回数	回	13	10	13	10
イ	定員を確保できる	定員の確保率(入学した生徒数/定員)	%	100	100	100	100
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果
事業費(千円)		14,436	10,825	13,459	・文科系・体育会系を含め、各部等の全国大会・九州大会への出場による出場経費補助回数は、全国が6回、九州が7回であった。特に柔道部、女子ハンドボール部の活躍により、学校の活性化について着実に成果が現れた。 ・指定宿舎に舎監及び寮監を配置し、入寮生の生活指導と安心安全の確保が出来た。また、入居一時金及び家賃の一部補助により、保護者の経済的負担を軽減出来た。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	7,500	4,900	6,600	
	一般財源	6,936	5,925	6,859	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報									
事務事業名 2385 ー 各学科課題研究支援事業									
政策名		4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			所属		国分中央高等学校		
施策名		1. 立志と将来への希望を育む学校教育の充実							
基本事業名		4. 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			予 算 科 目		01 一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)		①各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性、教育水準の維持向上を図るとともに、学科間の連携した取組を推進し、地域に信頼される魅力ある学校づくりに取り組みます。 ②歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに応じた高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 ③進路指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。					10 教育費		04 高等学校費
					03 教育振興費				
					事業期間		昭和30年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①国分中央高校 ②③生徒		①専門校としての魅力が高まる ②専門的技術や知識を持つことができる ③主体的な進路選択ができる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
専門学科の特性を生かした学力の定着を図るため課題研究への取組みを支援する事業。 主に課題研究に係る資料用教材を購入する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	生徒	生徒数	人	765	763	760	767
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	進路決定に役立つ学習をする	「進路を真剣に考え模試や資格取得等積極的に取組んでいる」と回答した生徒の割合	%	91	90	83	90
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果		
事業費(千円)		692	659	663	園芸工学科、生活文化科、ビジネス情報科、スポーツ健康科4学科の特性に沿った教材などの購入により、教育環境が整えられ、時代のニーズに合わせた授業や実習を行うことができた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	692	659	663			

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報									
事務事業名 2386 ー 国分中央高校設備整備事業									
政策名		4. はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			所属		国分中央高等学校		
施策名		1. 立志と将来への希望を育む学校教育の充実							
基本事業名		4. 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実			予 算 科 目		01 一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)		①各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性、教育水準の維持向上を図るとともに、学科間の連携した取組を推進し、地域に信頼される魅力ある学校づくりに取り組みます。 ②歴史・伝統を継承しつつ、時代のニーズに応じた高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努めます。 ③進路指導の充実を図るとともに、募集定員の確保に向けた取組を強化します。					10 教育費		
					04 高等学校費				
					03 教育振興費				
					事業期間		昭和30年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		特になし	
		①国分中央高校 ②③生徒		①専門校としての魅力が高まる ②専門的技術や知識を持つことができる ③主体的な進路選択ができる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
専門的技術や高度な知識を習得できるよう校内のICT環境を整備するなど教育環境を整える事業。							
主にパソコン機器の定期的な更新や保守、ネットワーク構築等を行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R5(実績)	R6(見込)	R6(実績)	R7(見込)
ア	生徒	生徒数	人	765	763	760	767
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R5(実績)	R6(目標)	R6(実績)	R7(目標)
ア	パソコンを利用した専門科目の授業を受けられる	ICT環境の利用率	%	100	100	100	100
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R5(決算)	R6(決算)	R7(予算)	4. 令和6年度の実績・成果		
事業費(千円)		62,976	13,939	22,137	ビジネス情報科データ処理室のパソコン42台を更新したことで、最新の情報処理機器の技能・技術を習得できる学習環境が整った。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	24,500	0	0			
	一般財源	38,476	13,939	22,137			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和7年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	